

# Support 21 Newsletter

Vol.45 2011.7

## チャリティコンサート 「<sup>ふるさと</sup>故郷」

～被災地出身演奏家の祈りに応えて～

宮城県石巻市出身の安藤友樹さん(東京フィル、トランペット)の呼びかけで2011年5月20日(金)、東京オペラシティコンサートホール(東京都新宿区)にて、実行委員会が主催し、事務局を担当いたしました。



このコンサートには、東京藝術大学の関係者など合わせて100名近いプロの演奏家たちが、忙しいスケジュールの中、オペラシティに駆けつけてくださいました。「被災地の音楽支援ということなら喜んで」と、被災地出身の演奏家を含め、全員無料で出演を引き受けてくださいました。多くの方がコンサートの趣旨に賛同して下さり、企画からわずか1ヶ月半という短い準備期間にも関わらず、1,500名を超えるお客様にご来場いただく盛大なコンサートとなりました。

コンサートの冒頭では、「祈りのファンファーレ」松下功(東京藝大教授)の作曲・指揮で合唱やアンサンブルが奏でられ震災の犠牲者のために黙祷が捧げられました。

第2部「明日へのうた」では、陸前高田市の高校3年生、佐々木瑠璃さんがステージに上がりました。佐々木さんが4月11日に自宅跡地でトランペットを吹く写真は新聞にも載りました。(詳細:朝日新聞 5月15日、5月21日、6月7日)この日のコンサートでは、ZARDの「負けないで」をウインドオーケストラをバックに演奏。「両親を亡くした友人がいる。私より、もっとつらい人がある。その悲しみが伝わり、私が今日こ

こで吹くことで、支援の輪が広がれば」という佐々木さんの想いは、満席の会場に確かに伝わりました。

コンサート終盤は「この道」「威風堂々第一番」そして「故郷」などの名曲が演奏されました。アンコールの「故郷」には再び佐々木さんも登場し、客席のみなさんも合唱で参加して幕となりました。

本コンサートの純益(企業、個人からお寄せいただいた募金、ご寄付を含む)は約1,270万円を超えました。

ご来場、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

この純益を使い、以下の5校(1小学校、3中学校、1高等学校)の吹奏楽部に楽器を寄付いたしました。

### <第1回目の支援校>

- 岩手県陸前高田市立高田小学校
- 宮城県石巻市立湊中学校
- 宮城県石巻市立渡波中学校
- 岩手県釜石市立釜石東中学校
- 岩手県立高田高等学校

### <第2回目の支援校予定>

- 宮城県石巻好文館高校
- 岩手県野田村立野田中学校
- 宮城県石巻地区吹奏楽連盟



司会、難民を助ける会  
加藤タキ副理事長と  
佐々木瑠璃さん



釜石東中学校贈呈式

社会福祉法人さぼうと21ではさらに寄付金を募り、引き続き支援を行って参ります。

2011年3月11日に起きた東日本大震災後、さぼうと21では、姉妹団体である「難民を助ける会」と協力して、緊急支援、復興支援を行っています。詳細は別紙「さぼうと21支援活動報告」をご覧ください。

# 震災後、

都内の日本語教室に通う多くの外国人が帰国したり、関西に移ってしまったりしていると聞きます。さぼうと21の学習支援室に通っている方々の多くは「難民」であり、どんなに望んだとしても、自国に帰るといった選択肢はありません。震災前と同じように日々の仕事に励み、子供を学校に通わせ、土曜日にもさぼうとの教室に休むことなく通ってきています。「多文化共生」の話題になると、よく「社会的弱者である外国出身者に寄り添っていききたい」と耳にしますし、私もそう口

にすることがあります。しかし、気が付けばいつのまにか私たちの傍らに当たり前のように寄り添ってくれている外国出身者がおおぜいいるということ、改めて思い知らされます。さぼうと21の学習支援室でも、震災後、私たちに何ができるだろうと考えました。まずは、ここで生活する外国出身者の皆さんが、どんな風に地震を経験し、どんな思いで過ごしたのかの記録をとることを考え、作文集としてまとめました。限られた時間の中で、書いてくださった作文ですが、支援室では見えない、皆さんの生活や思いを垣間見ることとなりました。大学進学を目指して日本語と数学を勉強中の受講生の作文をご紹介します。(学習支援室 コーディネーター 矢崎)

1年間12ヶ月もある。その中のある1ヶ月は僕にとって一番大切だ。それは3月。

僕が3月を好きな理由は、3月に楽しいことがたくさんあるからだ。まず僕の誕生日。

そして国のお正月。

その上、春になるので自然と新しいスタートができる。

だから僕は2月の後半から3月になるのを楽しみに待っていた。

まさかこんな大変なことになると思わなかった。

…今日(注:3月28日)から17日前に戻ります…

3月9日:大好きな所、横浜に行つて、友達と会つて、楽しい日を過ごした。

3月10日:今日僕23歳になります。そうです。今日は僕の誕生日だ。

3月5日間の中で一番大事な日なのでたくさん楽しんで、とてもステキなプレゼントももらった。

3月11日:朝早起きして、シャワー浴びて、とてもいい気分です。仕事場に向かった。僕は飲食店で働いているので、ふだんホールの仕事をしているが、2時くらい少しヒマだったのでキッチンの人を手伝って野菜を洗っていた。

その時大学どうしようかと休みの日どこ行こうか、休日に何食べようかなとかいろいろ考えて、まわりで何が起きているかぜんぜん気がつかなかった。

いきなり「危ないから出て」という声を聞いて、まわりをみたらカベとか電気とか全部動いて、みんな店の外に出た。僕も思わず外に出た。今まで見たことがないことを見ました。みんな道の中に座ったり、泣いたりして、隣の建物はおもちゃみたいに動いて、店の前にあるDVDの店はすべてのDVDが落ちて、とても不思議な時間だった。

地震の後、店の中に戻ったら、僕が水道を止めてなかったおかげでキッチンの中にプールができていた。

その日、僕は家に帰れなくて、次の日、昼間まで店で待っていた。

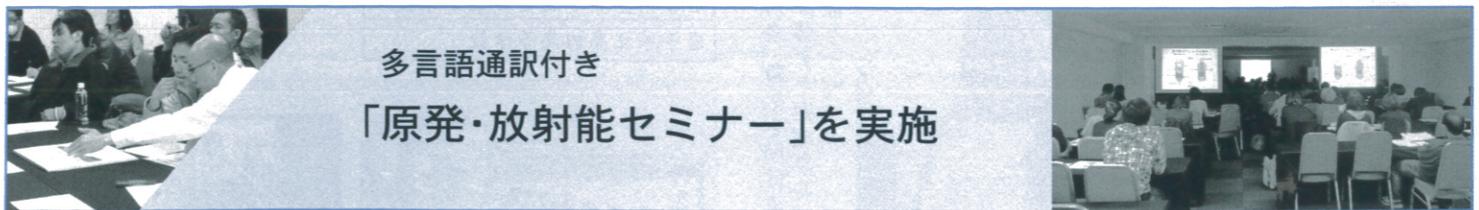
次の日、家に帰ってテレビを見たら悲しいニュースでいっぱいいて、とても忘れられない日だった。

この大地震で僕と僕の家族は無事だったんだけど、今2週間以上たっているのにまだまだ自分の家族をみつけることができない人とか、薬、食べ物、飲み物不足で苦しんでいる人々がたくさんいる。

23才最初の日はとても悲しい日になったが、僕にとっていい勉強にもなった。人間1分後何が起るかわからないから、人生のすべてを、1分1分大事にしていこうと思った。

1日も早く日本、僕の二番目の国が元の感じに戻るように祈ってる。

<原文まま>



3月12日(土)、大地震の翌日、学習支援室では通学生の安否確認に明け暮れました。支援室の大多数を占める難民の方々には帰国の選択肢はなく、大きな不安や恐怖を抱えながらも、私たちと同じようにいつも通りの生活を続けていました。3月26日、4月2日、皆さんの不安を少しでも和らげようと、他言語通訳付きの「原発・放射能セミナー」を実施しました。その一方で、ボランティア有志の方々が、災害時の避難方法を分かりやすく示した

動画制作(多言語翻訳あり)を進めて下さいました。その一部はすでにYOU TUBEにアップされています。そして今、私たちは、さらにこれから、どのように私達らしい支援ができるかを考える日々を過ごしています。まずは落ち着いて、いつも通り学習支援室の活動を進めること、そして、多くの皆さんにわかりやすく情報を伝えることに励んでいきたいと思っています。

# 平成22年度 事業報告

平成22年度は、皆様のご支援のおかげで生活支援プログラム、坪井一郎・仁子学生支援プログラム、学習支援室及び相談支援事業を継続することができ、定住外国出身者等の支援に努めてまいりました。また、東日本大震災発生を受けて、被災地への緊急・復興支援活動を開始いたしました。

## 生活支援プログラム

高校や大学、専門学校に通っているインドシナ難民や条約難民、中国帰国者の子弟等で、経済的事情で就学が困難な学生に、1年を通じて生活支援金を支給しました。また、夏期研修会を実施した他、「外国にルーツをもつ私たちの過去・現在・未来」をテーマに、支援生にエッセイを書いてもらい、文集を作成しました。

- 2010年度 総数:40名  
(高等学校23名、専門学校2名、大学15名(1名は留学のため中止))
- 国籍:ベトナム、ラオス、ミャンマー(ビルマ)、カンボジア、中国など。
- 支援金総額:5,020,000円/年  
別途、就職先決定者への就職支度金 合計10万円(5名)

## 坪井一郎・仁子学生支援プログラム

大学3年生から大学院生までのインドシナ難民、条約難民、中国帰国者、日系人などの子弟を対象に、専門分野での研究をサポートするための支援金を支給しました。12月に実施した「さぼうと21支援生とのつどい」では、支援生が研究発表を行いました。現在社会人として活躍中の元支援生も参加し、お互いの経験を共有することができました。

- 2010年度 総数:8名
- 国籍:ベトナム、中国、ブラジル、イラン、日本
- 支援金総額:4,320,000円/年  
別途、就職先決定者への就職支度金 合計6万円(3名)

## 緊急経済支援・緊急募金

前号のニュースレターでご報告した通り、2011年2月、学習支援室の通学生が火事で罹災したため、緊急経済支援金の支給と緊急募金の呼びかけを行い、多くの皆様から温かいご支援を頂戴いたしました。

- 緊急経済支援金支給件数:1件  
(ミャンマー(ビルマ)国籍の難民男性)
- 支給金額:50,000円  
緊急募金(3/31付3,320,812円)からの寄付:50万円  
※残金については緊急支援への備えとし、被災地の方々への緊急支援に有効に活用していくことも検討されている。

## 生活困窮者に対する相談事業

2010年度は、電話、Eメールや面談による83件の相談を受けました。相談内容は、学費や医療費の補助、住居の確保、日本語学習について等、日本での定住に関わる様々な問題と結びついています。

## 学習支援室

### 学習支援室の運営

年間を通じて、日本語教室、パソコン教室及び学校教科補習教室を開きました。外国出身者が単に必要最低限の日本語能力を習得するだけではなく、自立を目指し、社会参加の道を開いていくことを目的として教室を運営しています。原則1対1の学習形式を採ってきましたが、通学希望者の増加に対応するため、2010年度から日本語のグループ授業(初級～中級レベル)も開始しました。毎週土曜日を中心に、登録ボランティア講師と通学生がそれぞれ50名前後参加し、賑やかに授業が行われました。

その他、通学生の学習意欲向上のために、東京労働局の職員や行政書士の方等による日本生活事情講座(全3回)、お正月の書き初め展、文集の作成などの行事を開催しました。また、ボランティア講師の資質向上を目指して、ボランティア活動や日本語支援の現場についての日本語ボランティア研修(全6回)の他、自主勉強会や意見交換会を行いました。

### 学習支援室発表会

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)との共催で、国連大学において「共生社会の実現に向けて、その現状と課題」という発表会を行いました。会場からは、日本に在住する外国出身者等の状況をよりよく理解できたとの感想を頂きました。共生社会実現のために何をすべきか、参加者が考えを更に深め、行動に移すきっかけになったようです。

### 放射能についての多言語通訳付き緊急セミナーの実施

「平成22年度 日本郵便年賀寄附金」の助成を受け、日本語の理解が不十分な定住外国出身者等を対象に、地震や放射能についての緊急セミナーを8言語で行いました。多言語による情報提供が好評を得ました。

## 広報活動

### ●ニュースレターの発行

広報誌「Support 21 Newsletter」を年4回発行しました。

■発行月：Vol.41/6月、Vol.42/9月、Vol.43/12月、Vol.44/3月

### ●ホームページの更新

支援生の募集、さぼうと21主催行事の紹介の他、罹災者への緊急募金の呼びかけなど、随時更新を行いました。

### ●チャリティコンサート

認定NPO法人「難民を助ける会」との共催で、『加藤タキ・チャリティサロンコンサート』(7月と12月)及び、サントリーホールにトランペットの音が響き渡った『1+235本のトランペット大集合』を開催しました。

## 理事会

### 理事会・評議員会

平成22年度は、2010年5月と2011年3月にそれぞれ、定例理事会・評議員会を開催致しました。

## その他

### ●夏期研修会の実施

「日遊協ボランティア団体応援基金」と「平成22年度 日本郵便年賀寄附金」の助成を受け、国立オリンピック記念青少年総合センターで夏期研修会を実施しました。外国にルーツをもつ支援生と日本人ボランティア約50名が集まって仕事や進路について語り合い、交流を深めました。

# 2011年度 新・支援生決定

本年度も新たにさぼうと21の支援生が決定しました。皆様の温かいご支援により、今年も生活支援事業を継続することができ、深く御礼申し上げます。

応募者総数：100名

受給者：43名

年間支援総額：9,960,000円

★生活支援生：(1人当たり：60,000円～300,000円/年)

★坪井支援生：(1人当たり：480,000円～600,000円/年)

### ◆国籍別人数 43人中

国	籍	人	数		
ベ	ト	ナ	ム	23	
中	国			6	
カ	ン	ボ	ジ	ア	3
ラ	オ	ス		3	
日	本			6	
ミ	ャ	ン	マ	ー	2

### ◆受給者 43人中

学	校	種	別	人	数
高	校	生		17	
専	門	学	校	生	3
大	学	生		17	
大	学	院	生	6	

※日本国籍者のルーツは、  
ベトナム、アフガニスタン、ブラジル、韓国です。

### \*\*\*支援生からのハガキ\*\*\*

～2010年度に達成できたこと・達成できなかったこと～

高校生・ベトナム・男性

どうとう卒業式も終わりました。時の流れは残酷な程早く、実感が来たらわきます。たかがこそ、高校時代にできた「つながり」を今後も大切にしたいと思っています。

大学生・中国・女性

英文の学術論文は大変でしたが、2年の時期に国際政治学の学びを最後までやりぬいたことに対して、非常に嬉しく思っています。これから頑張る動機になりました。

来年の大学受験について、オープンキャンパスに行ったり資料を取り寄せたり下調べをした。自分の実力がどのくらいなのか模試を受けたり、それに備え勉強に取り組みました。しかし自分の実力が思ったより伸びなかったことがわかりました。

高校生・ベトナム・女性

前期の時は、大学に入ったばかりということもあり、大学の勉強つまりレポートの書き方や宿題の書き方に慣れなかった。後期の時は、少し経験が増えたので、レポートの書き方などに慣れた。

大学生・中国・男性

## 坪井基金 支援生紹介

(以下が決定した支援生の皆さんです)



◆**ファム ニーブン**  
東京理科大学  
工学第1部  
経営工学科 4年



◆**弘瀬 葉子**  
九州大学大学院  
比較社会文化学院  
博士後期課程 2年



◆**石川 麗奈**  
神戸大学大学院  
経営学研究科  
博士課程前期課程 1年



◆**袁 璉 (イエンジン)**  
千葉大学大学院  
医学薬学院  
博士課程 4年



◆**田中 藤丸**  
神戸大学大学院  
工学研究科  
博士課程前期課程 2年



◆**ブイ クオン ティン**  
大阪府立大学  
理学部  
情報数理科学科 4年



◆**ゲン ユイ**  
兵庫県立大学  
工学部  
電子情報電気工学科 3年



◆**レーティニャトクイ**  
東京大学大学院  
理学系研究科  
修士課程 1年



◆**孟 倩雯(モウチェンウン)**  
埼玉大学  
教養学部  
教養学科 3年



◆**宮ヶ迫ナンシー理沙**  
東京外国語大学大学院  
総合国際学研究所  
博士前期課程 2年

### <生活支援>

さぼうと21の生活支援プログラムは、日本に定住する難民、中国帰国者、日系人やその他の外国出身者、元外国籍の方々に対して、就学を支えるための生活支援金を支給するものです。本プログラムは、経済状況が厳しい家庭の高校生、大学生及び専門学校生を対象としています。

### <坪井一郎・仁子学生支援プログラム>

坪井基金は、東洋熱工業株式会社の創設者である故坪井一郎様、仁子様のご遺志に基づき、ご夫妻から寄贈された株配当金を原資として、2005年に設立されました。難民、中国帰国者、日系人やその他の外国出身者、元外国籍の方々の中で、将来日本社会において活躍が期待される成績優秀な学生に、月々支援金を支給しています。対象は、日本に定住する大学3年生から大学院までの学生です。

# 収支計算書

◆決算額……平成22年度4月1日から平成23年度3月31日 ◆予算額……平成23年度4月1日から平成24年度3月31日

科目	決算額	予算額
<b>【収入の部】</b>		
会費収入	1,295,000	1,500,000
正会員会費収入	1,295,000	1,500,000
補助金等収入	4,724,390	2,200,000
民間助成金収入	49,285	1,000,000
公的助成金収入	4,675,105	1,200,000
寄附金収入	20,604,421	10,000,000
寄附金収入	17,604,421	10,000,000
資産受贈益	3,000,000	
受取配当金	10,000,000	10,000,000
受取配当金	10,000,000	10,000,000
雑収入	1,271,424	1,200,000
受取利息	1,202,553	1,200,000
雑収入	68,871	
当期収入合計 (A)	37,895,235	24,900,000
前期繰越収支差額	5,393,160	8,513,634
収入合計 (B)	43,288,395	33,413,634
<b>【支出の部】</b>		
事業費	23,596,997	21,991,000
生活支援金	10,317,008	10,700,000
生活相談費	3,900,739	4,644,000
生活援助事業費	1,169,032	2,970,000
助成金事業費	6,592,310	2,000,000
福利厚生費	5,000	10,000
旅費交通費	108,820	230,000
通信運搬費	624,051	550,000
会議費	101,595	10,000
消耗品費	47,981	10,000
印刷製本費	457,501	500,000
ソフトウェア購入費	0	50,000
書籍謝金	12,930	
諸謝金	0	0
保険料	0	7,000
会費		30,000
支払手数料	233,280	250,000
雑費	26,750	30,000
管理費	4,154,660	4,569,111
給料手当	1,672,236	2,120,000
法定福利費	617,966	500,000
通信運搬費	398,817	300,000
旅費交通費	960	3,000
消耗品費	186,395	300,000
事務所賃借料	600,000	600,000
外部監査費	0	105,000
諸謝金	111,111	111,111
福利厚生費	0	10,000
会議費	30,577	30,000
印刷機費	445,756	400,000
支払手数料	88,842	80,000
雑費	2,000	10,000
予備費		0
固定資産取得支出		0
什器備品購入		
当期支出合計 (C)	27,751,657	26,560,111
当期収支差額 (A - C)	10,143,578	-1,660,111
次期繰越収支差額 (B - C)	15,536,738	6,853,523

※本年度は、東日本大震災により3月11日以降の入金が増え、繰越金額が例年以上となりました。予算は改めて補正予算を組みます。

科 目		金 額	
		(単位:円)	
<b>【資産の部】</b>			
流	動 資 産		
	現金手許有価証券		168,190
	三井住友銀行目黒支店(3口座)	10,585,508	
	三菱東京UFJ銀行目黒支店	7,144	
	普通預金合計		10,592,652
	郵便振替口座		4,789,189
	現金預金合計		15,550,031
	前払金		
	職員謝金		84,280
	流動資産合計		15,634,311
固	定 資 産		
	基本財産		
	その他の基本財産(国債)		100,000,000
	その他の固定資産		
	長期保有目的有価証券(株券)	100,000,000	
	ソフトウェア	170,100	
	印刷機	259,875	
	土地	17,600	
	その他の固定資産合計		100,447,575
	固定資産合計		200,447,575
	資産合計		216,081,886
<b>【負債の部】</b>			
	預り金		
	源泉所得税		97,573
	流動負債合計		97,573
	負債合計		97,573
<b>【正味財産の部】</b>			
	正味財産		215,984,313
	(うち基本金)		(100,000,000)
	(うち当期正味財産増加額)		9,976,903
	負債及び正味財産合計		216,081,886

## ◆貸借対照表

平成23年3月31日 現在

科 目		金 額	
		(単位:円)	
<b>【資産の部】</b>			
流	動 資 産		
	現金預金	15,550,031	
	前払金	84,280	
	流動資産合計		15,634,311
固	定 資 産		
	基本財産		
	その他の基本財産	100,000,000	
	基本財産合計	100,000,000	
	その他の固定資産		
	ソフトウェア	170,100	
	什器備品	259,875	
	土地	17,600	
	長期保有目的有価証券	100,000,000	
	その他の固定資産合計	100,447,575	
	固定資産合計		200,447,575
	資産合計		216,081,886
<b>【負債の部】</b>			
	預り金	97,573	
	流動負債合計	97,573	
	負債合計		97,573
<b>【正味財産の部】</b>			
	正味財産		215,984,313
	(うち基本金)		(100,000,000)
	(うち当期正味財産増加額)		9,976,903
	負債及び正味財産合計		216,081,886

# 学習支援室 みんなで楽しもうよ！ だより

学習支援室も落ち着きを取り戻して始動！

## ギタークラブスタート！

早くも、新しいクラブが誕生！  
ギタークラブです！プロのミュージシャンの神森哲也さんがボランティアでご指導を引き受けてくださり、5月28日、早速、第1回の打ち合わせが行われました。合唱クラブよりさらに一歩進んで「自己責任」が原則です。ボランティアか通学生かは関係なく、皆で考え、皆で活動をしていきます。とりあえずの目標は「夜空ノムコウ」の完成。真剣で、楽しそうなメンバーの表情・・・期待がもてます。



**アコースティックギター求む！**  
お宅に眠っているギターがある方は、ぜひさぼうと21にご連絡ください。

☎ 03-5449-1331

## 布草履を作る会！



3月に予定していた「布草履づくり」が地震のために延期となっていました。6月11日(土)に、やっと実現！15人の参加者が先生方のご指導のもと、必死で草履を完成させました。足と腰にかけた紐がポイントです。こうなると、日ごろの「先生」も「生徒」も全く関係ありません。器用な人は器用、そうでない人はそれなりに・・・

苦労して草履を完成させた後の皆さんの笑顔は本物です。

今回、ご指導を下された「銀河グループ」の皆さんは、以前から姉妹団体難民を助ける会にご協力くださっています。参加者よりはるかにお疲れだと思います。尊田さん、伊藤さんご夫妻、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます！

AAR JAPAN  
Association for Aid and Relief, Japan  
難民を助ける会  
チャリティショー

日本の伝統芸能に親しみながら、被災地の方々を応援してください

# 話芸・和芸

2011年9月7日 (水)

開演：午後7時(開場：午後6:15)

場所：東京オペラシティコンサートホール  
新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー3F

料金：全席指定 (・S席6,500円・A席4,000円・B席2,500円)

- 出演者プロフィール -



◆三遊亭円楽



◆中村梅五



◆古今亭志ん輔



◆三遊亭金八



◆大倉正之助

※好評発売中です、あと二ヶ月  
よろしくお願ひ致します！

お問合せ 社会福祉法人 さぼうと21 TEL: 03-5449-1331

主催：認定NPO法人 難民を助ける会 / 共催：社会福祉法人 さぼうと21

8 当法人へのご寄付は税法上の優遇措置があります。

さぼうと通信



# Newsletter

Support21, Social Welfare Foundation

Vol.45 2011.7

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

## 社会福祉法人さぼうと21は・・・

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、在日外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。認定NPO法人難民を助ける会(AAR JAPAN)を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。「困っている人がいたらお互いさま」をモットーに、日本国内で政治、宗教に中立な立場で活動しています。学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援して下さる方を求めています！

■会員 : 法人会費 50,000円  
: 個人会費 5,000円

■ご寄付: 随時受付中

(会費・ご寄付とも税法上の優遇処置が受けられます)

■会費・寄付のご送金口座

□ ゆうちょ銀行(旧郵便局): 00180-7-25470

加入者名: 社会福祉法人さぼうと21

※通信欄に会費または寄付とご明記ください

□ 三井住友銀行: 三井住友銀行 目黒支店

(普)851872

名 義: 社会福祉法人 さぼうとにじゅういち

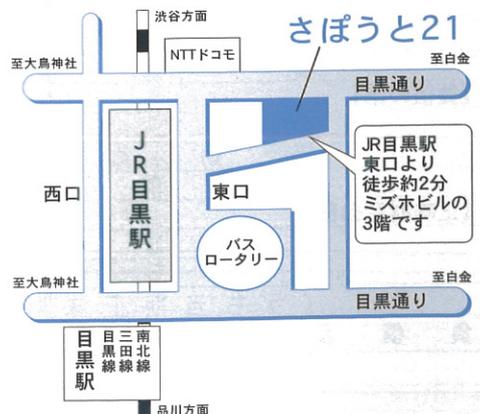
※三井住友銀行振込後は事務局までご一報ください

## お問い合わせ

編集・発行 TEL / FAX  
社会福祉法人 さぼうと21 TEL: 03-5449-1331  
FAX: 03-5449-1332

住所 E-mail  
〒141-0021 info@support21.or.jp  
東京都品川区上大崎  
2-12-2 ミズホビル3階

URL  
http://www.support21.or.jp



印刷所

秋田協同印刷株式会社